

2022 年度 自己評価報告書

(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

2023 年 2 月 24 日

京都仏眼鍼灸理療専門学校

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、学則第 1 条に掲げるとおり、仏教の根本理念である「慈悲」の心を建学の精神とし、教育基本法及び学校教育法並びにあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律に基づき、身体障害者殊に視力障害者とともに受け継がれてきた東洋医療に関する専門知識及び技能を修得させ、有能にして淳良な、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師を養成し、併せて社会に貢献しうる円満なる人格の養成を図ることを目的としている。</p> <p>上記を達成するために、教育方針にスローラーニングを掲げ、特に実技・実習科目において、基礎の徹底を図るとともに、教育課程の充実に努め、社会のニーズに対応できる医療人の育成を図っている。</p> <p>併せて、これらの事項についてホームページ等にて情報を発信し、学内外に広く周知されるよう努めている。</p>	<p>以前より他校に比して充実した授業時間数を設定していたが、平成 30 年度より導入された新カリキュラムにおいては更に専門基礎科目及び実技・実習科目について、大幅に時間数を増やし、より一層基礎の徹底を図っている。</p>

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	医療人を養成するという観点から、その理念・目的・育成人材像は明確に定められるべきである。	学則第 1 条に明確に定めている。		学則
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	学校関係者評価における企業等委員からの情報や、社会状況の変化を考慮し、適宜見直しを行い対応していくべきである。	他校と比して多数の求人を頂くことから、本校の教育が業界のニーズに沿っているものであると判断する。	業界のニーズを更に把握していく必要があると考える。そのために、企業等委員や同窓会会員との連携をより密なものとし、情報をご提供いただく。	

<p>1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか</p>	<p>教育課程の充実に努め、社会のニーズに対応できる医療人を育成する。</p> <p>教育方針にスローラーニングを掲げ、特に実技・実習科目において、基礎の徹底を図る。</p> <p>国家試験合格率 100%を目標とする。</p> <p>卒後研修等の生涯教育への取り組みを図る。</p>	<p>他校と比較して充実した授業時間数を設定しており、各学科とも特に実技・実習科目においては、基礎を重視した教育を行い、他校と比較して技術レベルの底上げが出来ていると判断する。</p> <p>第30回(2021年度)においては、国家試験合格率全国平均が、はり師：74.2%、きゅう師：76.1%、あん摩マッサージ指圧師：84.7%であったのに対し、本校の新卒者の国家試験合格率は、はり師：84.4%、きゅう師：84.4%、あん摩マッサージ指圧師：93.9%という結果であった。</p> <p>2022年度においては計2回の同窓会主催の卒後研修会を実施（一部予定）している。</p>	<p>1年次より学習の習慣化に向けて取り組み、成績不良者のフォローアップをしていくとともに、国家試験対策をより充実させ、国家試験合格率の向上を図る。</p> <p>生涯教育への取り組みの活発化を目指し、ハイブリット形式や完全オンライン形式も含めて、卒後研修実施回数を増やす。</p>	<p>第30回あはき師国家試験合格率等（2021年度）</p> <p>第30回あん摩マッサージ指圧師 学校別合格率一覧表</p> <p>第30回はり師 学校別合格率一覧表</p> <p>第30回きゅう師 学校別合格率一覧表</p>
---	--	--	---	---

1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	超高齢社会への対応等、中・長期的な構想の構築が必要である。	ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを作成中である。	左記のポリシーを作成し、本校の在り方をより明確にすべきである。	
-------------------------------	-------------------------------	--	---------------------------------	--

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念・目的・育成人材像について、明確に定め、学内外に周知する。	特に教育においては、方針にスローラーニングを掲げ、基礎の徹底を図り、カリキュラム等については、社会のニーズに対応できるよう、常に改善を意識し、取り組んでいる。

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学則第 1 条に掲げる理念を達成すべく、毎年度前に予算とともに事業計画書を作成し、法人評議員会・理事会において承認を受けており、この事業計画書によって当該年度の学校の運営方針を定めている。</p> <p>また、学内においては、毎週学校運営会議、教務会議を開催し、教員連絡会議にて決定事項を教職員へ周知しており、さらに教職員全員が専用のパソコンを持ち、学校内 LAN を用いて情報の共有・伝達を行うことにより、業務の迅速化、効率化を図っている。</p>	

最終更新日付	2023 年 2 月 24 日	記載責任者	松尾 卓
--------	-----------------	-------	------

2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	法人評議員会、理事会において承認された事業計画及び予算に基づいて運営する。	毎年度、承認された事業計画に基づいて運営を行っている。		学校法人京都仏眼教育学園 2022年度事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度前に予算とともに事業計画書を作成し、法人評議員会・理事会において承認されている。この事業計画書によって当該年度の学校の運営方針を定めている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	年度ごとに詳細な事業計画を定め、評議員会、理事会にて承認を得る。	毎年度、学校法人京都仏眼教育学園の事業計画書に本校の運営方針を記載し、法人評議員会、理事会の承認を受けている。	さらに広報活動を活発化させることにより、臨床実習協力者の増加を図るべきである。	学校法人京都仏眼教育学園 2022年度事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学則第1条に掲げる理念を達成すべく、毎年度事業計画を策定し、法人評議員会・理事会にて承認を受けている。また、それに基づき、治療所の運営充実を図っている。今後、臨床実習協力者の増加を図るためにも、広報活動等を活発化させていく。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	法人の事業計画に基づき、運営を行う。	法人の事業計画に基づき、運営を行っている。		学校法人京都仏眼教育学園 2022年度事業計画書
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	運営組織及び意思決定機関について明確に定める。	学則において、学内の最高意思決定機関である学校運営会議について定めている。		学則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学内における最高意思決定機関として学校運営会議を設置し、事業計画に基づき、適切に運営を行っている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	人事及び給与に関して、客観的かつ公平に実施する。	客観的かつ公平に実施している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
適切かつ公平に実施している。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	法人理事会を中心とし、学内には学校運営会議、教務会議といった意思決定システムを構築する。	法人においては、評議員会、理事会を定期的で開催している。 学内においては、毎週学校運営会議、教務会議を開催し、教員連絡会議にて決定事項を教職員へ周知している。		理事会議事録 評議員会義録 運営会議議事録 教務会議議事録 教員連絡会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法人においては、評議員会、理事会を定期的で開催している。学内においては、毎週学校運営会議、教務会議を開催し、教員連絡会議にて決定事項を教職員へ周知している。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率化を図っているか	LAN 構築などをもって、業務の迅速化、効率化を図る。	<p>学校内における LAN 構築を実施しており、それをういて情報の共有・伝達を行うことにより、業務の迅速化、効率化を図っている。</p> <p>教員 1 名あたりに 1 台のノート PC を用意し、テレワークやオンライン会議等にも対応できる環境を整えている。</p> <p>図書システムを構築し、専用媒体による一括管理を行っている</p>		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教職員全員が専用のパソコンを持ち、学校内 LAN を用いて情報の共有・伝達を行うことにより、業務の迅速化、効率化を図っている。</p> <p>教員 1 名あたりに 1 台のノート PC を用意し、テレワークやオンライン会議等にも対応できる環境を整えている。</p>	

最終更新日付	2023 年 2 月 24 日	記載責任者	松尾 卓
--------	-----------------	-------	------

基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>業界のニーズレベルに適するべく、また医療人として相応しい人間性を育むため、教育方針にスローラーニングを掲げ、特に実技・実習科目において、基礎の徹底を図っている。また、他校と比較して充実した授業時間数を設定するとともに、本校の独自性を打ち出したカリキュラムを策定している。</p> <p>加えて、より教育効果の高い授業の実施を目的として、期毎に授業評価を実施し、授業の改善を図っている。</p> <p>いずれの科においても、国家試験合格率 100%を目指し、授業外の時間においても国家試験対策を実施し、フォローアップを図っている。</p> <p>これらのことを達成していくにあたり、多種多様な経歴の専任教員を雇用するとともに、医学博士や臨床歴の長い業界関係者に非常勤講師として教授頂いている。</p>	

最終更新日付

2023 年 2 月 24 日

記載責任者

松尾 卓

3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	業界のニーズレベルに適するべく、また医療人として相応しい人間性を育むため、理念に基づき教育課程を編成し、適宜見直しを行う。	他校と比較して充実した授業時間数を設定している。 平成30年度より実施の新カリキュラムに対応して設置された新カリキュラム設置委員会により、教育理念に則った科目編成がなされている。 各学科に「経絡治療」の授業を取り入れるなど、本校の独自性を打ち出したカリキュラムを策定している。		学則附表
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	学則やシラバスで明記する。 ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーから学年毎の到達目標を明確にする。	鍼灸実技においては、鍼の刺入深度・角度や灸の壮数等、学年毎に具体的な到達目標を設け、シラバスに明記している。他の科目に関しても、シラバスにおいて到達目標を明示している。	科目毎の到達目標においても連携した形をとるとともに、学年毎の、より明確に言語化した到達目標を策定する。	学則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>業界のニーズレベルに適するべく、また医療人として相応しい人間性を育むため、他校と比較して充実した授業時間数を設定するとともに、各学科に「経絡治療」の授業を取り入れるなど、本校の独自性を打ち出したカリキュラムを策定している。</p> <p>また、教育到達レベルについては学則やシラバスで明記している。</p>	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育方針にスローラーニングを掲げ、特に実技・実習科目において、基礎の徹底を図る。	他校と比較して充実した授業時間数を設定している。 各学科とも特に実技・実習科目においては、基礎を重視した教育を行っている。		学則附表
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成委員や学校関係者評価委員から意見を頂戴し、業界のニーズに適した人材の育成を図る。	教育課程編成委員や学校関係者評価委員を組織し、意見の聴取に取り組んでいる。 それらの意見を集約し、一部科目において、その内容に反映をしている。	更なる意見の集積と反映が必要である。	
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	働き方の多様性を示すべく、業界団体関係者等から生徒へ、現場での経験等を伝えていただく。	業界団体関係者等に外部講師を依頼し、卒業後の具体的な姿・働き方をイメージさせている。	外部講師の依頼等の機会を増やし、生徒が将来のビジョンをより明確にできるよう働きかけるべきである。	
3-9-4 授業評価を実施しているか	より教育効果の高い授業の実施を目的として、定期的に授業評価を実施し、授業内容・方法の改善を図る。	期毎に授業評価を実施し、集計結果を各教員へ配布、併せて、その結果に対する報告書の提出も求め、授業の改善を図っている。	授業改善がどのように行われたかの評価をより明確にしていくべきである。	授業評価アンケート例

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>他校と比較して充実した授業時間数を設定するとともに、教育方針にスローラーニングを掲げ、特に実技・実習科目において、基礎の徹底を図っている。また、より教育効果の高い授業の実施を目的として、期毎に授業評価を実施し、授業の改善を図っている。</p>	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	シラバス・学則等に記載し、成績評価・修了認定基準を明確にする。	成績評価・修了認定の基準は明確であり、所定の基準を充たした者が単位を認定される。 また、現行のシラバスについては、より明確な到達目標が生徒へ示される形式としている。	基準は明確になっているが、各科目の試験難易度については担当者の判断によるため、一律とは言い難い。しかしながら、試験問題は一旦教務に集約し、難易度や設問の適不適について確認を行っている。	学則 シラバス例
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	関係団体の学術大会における生徒の発表等を推進し、その成果を把握する。	例年、東洋療法学校協会学術大会において、担当教員の指導の下で生徒が発表を行っている。また、学内発表・プレ発表等も実施をしている。 2022年度においては医道の日本社賞を受賞した。	学術大会における生徒の発表等を更に促していくべきである。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・単位認定については、シラバス及び学則にて明確に周知している。また、期毎に通知表をもって、保証人へ伝達を行っている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	あん摩マッサージ指圧師又ははり師・きゅう師又はその全ての国家資格の取得を目指し、認定規則に基づいてカリキュラムを作成する。	左記の資格取得を目標とし、学校養成施設認定規則に基づいたカリキュラムを作成するとともに、卒後の即戦力を養うため、各科とも認定規則以上の単位数の臨床実習を履修させている。		
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	国家資格取得に向けた教育課程とする。	通常の課程に加え、授業外で国家試験対策講義(今年度はオンデマンド配信方式とハイブリット形式の2種)を実施し、フォローアップを図っている。また、成績不良者に対しては保証人を含めた面談を実施し、学習方法等の指導を行っている。		

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
あん摩マッサージ指圧師又ははり師・きゅう師又はその全ての国家資格の取得を目指し、認定規則に基づいた授業を実施するとともに、授業外の時間において国家試験対策を実施し、フォローアップを図っている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	学校養成施設認定規則に基づき、要件を充たした教員を必要数確保する。	大学出身者、教員養成課程卒業者、他種免許取得者、開業経験者等、特色豊かな専任教員を雇用している。 また、医学博士や臨床歴の長い業界関係者に非常勤講師として教授頂いている。	スポーツ鍼灸・美容・介護等、業界のニーズに合わせた知識・技術を教授できる人材の確保も継続して行っていくべきである。	
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	個々の教員の能力を助長すべく、研修会や学会参加を推奨する。	毎年、全専任教員で東洋療法学校協会教員研修会に参加している。また、教員の学会発表も奨励し、例年数名の教員が全日本鍼灸学会等で発表を行っている。		
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教務部を中心として各種委員会等を組織し、業務の分掌を明確にするとともに、業務の効率化を図る。	教務部を中心として、庶務担当、実技実習担当、広報担当自己点検・評価委員会、新カリキュラム設置委員会などを組織し、業務の分掌を行っている。		組織図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>多種多様な経歴の専任教員を雇用するとともに、医学博士や臨床歴の長い業界関係者に非常勤講師として教授頂いている。今後も業界のニーズに合わせて、より専門的な知識・技術を教授できる教員・講師の雇用を図っていく。</p>	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>国家試験においてはもちろんながら合格率100%を目指すところであるが、国家試験の合格のみに留まらず、より有能にして淳良な、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師を養成するために、本校の独自性を打ち出したカリキュラムを策定し、教育を行っている。それに対して、多くの企業・治療院から求人依頼があることこそが、本校の学修・教育の成果である。</p> <p>また、生涯教育の観点から、卒業後のスキルアップも重視し、同窓会「洛仁会」と連携をして、積極的に卒後研修等に取り組んでいく。</p>	

4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職を希望する生徒においては就職率 100%を目指す。	学生運営課進路指導係の下、求人・就活支援サイトを用いて、積極的に就職活動を支援している。 また、当該サイトへは在校生のみならず卒業生の登録も可としており、卒業生の就職支援にも有用なものとなっている。	求人・就活支援サイトについて、活用方法等のさらなる周知を積極的に実施する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職を希望する生徒においては就職率 100%を目指し、求人・就活支援サイトを導入するなど積極的に就職活動を支援している。しかしながら、制度の利用率が高いとは言えず、生徒への周知等が必要である。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	全学科において国家試験合格率 100%を目指す。	第 30 回(2021 年度)においては、国家試験合格率全国平均が、はり師：74.2%、きゅう師：76.1%、あん摩マッサージ指圧師：84.7%であったのに対し、本校の新卒者の国家試験合格率は、はり師：84.4%、きゅう師：84.4%、あん摩マッサージ指圧師：93.9%という結果であった。	1 年次より学習の習慣化に向けて取り組み、成績不良者をフォローアップしていくとともに、国家試験対策をより充実させ、国家試験合格率の向上を図る。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全学科において国家試験合格率 100%を目指しており、その数字に届かない年度もあるものの、例年全国平均を上回る合格率である。	

最終更新日付	2023 年 2 月 24 日	記載責任者	松尾 卓
--------	-----------------	-------	------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	教育効果を把握し、現状の教育方法等を改善する目的から、既卒者の動向については同窓会と連携し把握する。	<p>数年に1度、卒後5年以内の卒業生に対して現況等を確認するアンケートを実施している。</p> <p>本校同窓会である「洛仁会」主催の卒後研修を行うなどして卒業生との交流・連携を図っている。2022年度においては6月に同窓会主催の卒後研修会を実施し、3月にも第2回を実施する予定である。</p> <p>本校卒業生が多く在籍をしている京都府鍼灸マッサージ師会とも相互交流を行っている。</p>	<p>卒業生との交流・連携をより強化していく。</p> <p>また、対面による講習会等の実施が敵わない場合であっても、オンデマンド・オンライン授業等のノウハウを活かし、zoom等を用いたハイブリット形式又は配信形式の講習会等を企画する。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
すでに同窓会や業界団体と連携・交流をしているところではあるが、これを強化し、卒業生との連携・交流をより活発化していくべきである。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

基準 5 生徒支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校では担任制度を採用し、担任を中心に、教務部、事務部と連携を取りながら、生徒への個別対応を行っている。保証人に対しても、期毎に通知表を用いて、生徒の状況を伝達しており、学校－生徒－保証人間の連携を強固にすることによって、問題が生じた際の早期対応を可能としている。経済的側面については、本校独自の、成績優良者に対する奨学金制度を用いてその負担軽減を図り、中途退学の分析と併せて、退学の防止に努めている。</p> <p>また、卒業後のスキルアップにも重点を置き、年に2～3回の卒後研修を実施しており、今後も同窓会「洛仁会」とも連携し、更なる卒後研修の充実を図っていく。</p>	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	開業支援を含め、就職等進路に関する支援体制を整備すべきである。	前述のように、学生運営課進路指導係の下、求人・就活支援サイトを用いて、積極的に就職活動を支援している。 また、就職以外の進路に関する掲示も行い、積極的に進路選択に対する支援を行っている。	求人・就活支援サイトについて、活用方法等のさらなる周知を積極的に実施する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
求人・就活支援サイトの導入など、積極的に就職活動支援を行っているところではあるが、生徒の利益となるよう、更なる支援体制の整備が必要である。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	中途退学の理由の分析等を行い、退学率の低減を図るべきである。	成績優良者に対する奨学金制度を用い、経済的理由からの退学の防止に役立てている。 また、行政の制度についても積極的に生徒へ周知し、経済的なダメージに対しての支援を行っている。 昨年度よりスクールカウンセラーと契約し、月に3度カウンセリングの機会を設け、精神面におけるフォローアップにも取り組んでいる。	退学率0を目指し、更なる分析及び対策を講じるべきである。 成績不良を理由とした退学を防止するためにも、1年次より学習の習慣化に向けた取り組みが必要である。 2021年度退学者：12名 2022年度退学者：6名	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校独自の奨学金制度等による経済的負担の軽減及びスクールカウンセラーの設置等によって退学防止に努めている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

5-18 生徒相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 生徒相談に関する体制を整備しているか	担任、教務部、事務部との密接な連携により対応する。	担任を中心に、教務部、事務部と連携をとり、個別に対応をしている。		
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	昨今の外国人労働者問題等を鑑み、留学生に対する相談体制と整備すべきである。	現在は留学生が在籍していない。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任を中心に、教務部、事務部と連携を取りながら、個別に対応を行っている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

5-19 生徒生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 生徒の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	経済的理由によって学習が阻害されることのないよう、経済面での支援体制を整備する。	<p>本校独自の、成績優良者に対する奨学金制度を用い、経済的負担の軽減を図っている。</p> <p>また、日本生徒支援機構の奨学金等についても、随時説明会を設けている。</p> <p>さらに昨年度より高等教育無償化制度の対象校として認可を受けている。</p> <p>また、行政の制度についても積極的に生徒へ周知し、経済的なダメージに対しての支援を行っている。</p>	奨学金制度等に関して、更なる制度整備の検討を行っていくべきである。	

5-19-2 生徒の健康管理を行う体制を整備しているか	年に1度、全生徒を対象とし、健康診断を実施する。	京都予防医学センターより医師等を派遣頂き、毎年1回、全生徒・全教職員を対象とした健康診断を実施している。 また、昨年度よりスクールカウンセラーと契約し、月に3度カウンセリングの機会を設け、精神面におけるフォローアップにも取り組んでいる。		
5-19-3 生徒寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	生徒寮等の設置は予定しないが、その他の生活環境等の支援体制は整備する。	新入生登校日等に学生マンション賃貸業者にブースを設置してもらい、住環境等に関する相談を受け付けている。		
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	課外活動に対する支援体制を整備する。	課外活動に関するポスター等を掲示板に掲示するとともに、業界団体等の活動に関しては、担任より伝達を行っている。 また、卓球部や学術委員の活動も積極的に支援しており、これまでも複数回、京都府専修学校各種学校協会体育大会や東洋療法学校協会学術大会にて表彰を受けている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校独自のもの及び日本学生支援機構の奨学金制度を用い、経済的側面の支援を行っている。健康的側面については、年に1度の健康診断を行うとともに、教員が医療資格者であるため、適宜生徒の健康相談に対応している。また、課外活動に関しても、積極的に支援しており、様々な実績を残しているところである。</p>	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	全生徒に保証人を設定させ、状況に応じ、学校－保証人間で適切な連携をとる。	期毎の通知表に保証人のサイン及びコメントを求め、生徒の状況を確認頂いている。 また、成績不良者等に関しては、担任より保証人へ成績・出席状況等を通知し、早期対応に取り組んでいる。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
期毎の通知表によって、生徒の状況を伝達するとともに、成績不良者等に関しては、担任より保証人へ成績・出席状況等を通知し、早期対応に取り組んでいる。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	本校が開催する卒後研修や同窓会の行事等を通じて、卒業生のスキルアップを図る。	例年、年に2～3回の卒後研修を実施し、卒業生のスキルアップを図っている。	同窓会「洛仁会」と連携し、今後、この活動を活発化していく。	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	卒業後においても、本校を通じて技術の向上を図ることができシステムを整備する。	卒後研修において、業界団体の方や臨床歴の長い先生にお越し頂き、卒業生の技術向上を図っている。		
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人の時間的制約等を鑑み、よりニーズに則した教育環境を整備する。	科目免除に関する規則を明確化し、基礎分野・専門基礎分野に関しては、単位の互換を行えるようにして、時間的制約の軽減を図っている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業界団体の方や臨床歴の長い先生にお越し頂き、年に2～3回の卒後研修を実施、卒業生のスキルアップを図っている。今後も同窓会「洛仁会」とも連携し、更なる卒後研修の充実を図っていく。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学習に臨む環境の整備は、もちろんながらに学校における重要項目であり、教育に支障がないよう、十分な数・状態の道具・設備の設置している。また、年に2度、道具の棚卸しを行い、それらの状態のチェック及び保持にも努めている。</p> <p>また、本校の学習は校内におけるものに留まらず、例年各種工場見学や盲学校との手技交換会を実施するなど、多面的な教育を行い、更なる教育効果の向上に取り組んでいる。</p> <p>安全管理については防火管理者を設置するなど、防災に関して適切な組織体制を整備するとともに、学内における落鍼等の事象については、インシデント・アクシデントレポートの作成を義務付け、再発の防止に努めている。</p>	

6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	施設・設備は教育に支障がないように整備する。	在籍生徒数に応じ、十分な数・状態の施設・設備を設置し、担当者を設定した上で、適切に管理をしている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育に支障がないよう、十分な設備を設置している。また、施設清掃についても外部業者と委託契約を行い、常時清潔な状態を保持している。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	外部の関係機関と連携し、より教育効果の高い学外実習等を遂行する。	亀屋左京と連携をとり工場見学実習を実施している。また、一昨年度からコロナ禍の影響により実施をしていないが、例年、京都府立盲学校やセイリンとも連携をとり、手技交換会や工場見学実習を実施している。	連携を取る関連団体の枠を広げ、より多角的な学外実習が行われるよう整備をしていくべきである。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
例年、各種工場見学や盲学校との手技交換会など、積極的に学外実習を実施し、多面的な教育に取り組んでいる。今後は更にそれを拡充し、更なる教育効果の向上を目指すべきである。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用する。	防火管理者を設置するなど、防災に関して適切な組織体制を整備している。	避難経路等の教職員・生徒への周知がなされておらず、対応が必要である。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用する。	インシデント・アクシデント等の事象が生じた場合は、レポートの作成を義務付け、それに基づいて管理体制の見直し等を行っている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防火管理者を設置するなど、防災に関して適切な組織体制を整備している。しかしながら、災害時の避難経路等について、教職員及び生徒への周知が徹底されているとは言い難く、対応が必要である。学内の事象については、インシデント・アクシデントレポートの作成を義務付け、再発の防止に努めている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

基準 7 生徒の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>志願者が必要とする情報について、募集要項、ホームページ等で掲載し、学生募集を行っている。また、SNS 等を用い、積極的に情報発信を行うことによって、定員の充足を図っている。</p> <p>入学選考に関し、選考結果に関する学校運営会議を開催するなど、適切に実施、運用を行っている。</p>	

7-25 生徒募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	高等学校に対し、積極的に情報提供を行う。	毎年、数校の高等学校に対して学校説明に赴き、本校ならびに本業界の情報提供を行っている。また、昨年度においては高等学校への出張授業も実施し、本校のみならずあはき業界の認知度の向上にも取り組んでいる。		
7-25-2 生徒募集活動を適切かつ効果的に行っているか	定員充足に向け、積極的に広報活動を行い、受験者数の増加を図る。	近年は特に広報活動に注力し、本校及び本校の取り組みを認知してもらう機会の増加に取り組んでいる。 具体的な取り組みとしては①オープンキャンパス実施回数の増加、②オープンキャンパス内容の充実、③オンラインオープンキャンパス・学校説明会の実施、④facebook 更新頻度の増加、⑤インスタグラムアカウントの創設などである。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>例年、数校の高校訪問を行うとともに、ホームページや SNS を用い、積極的に情報発信を行っている。入学者の充足率を鑑みるに、今後更にこれらの活動を活発化させるとともに、地域住民等へのあはき業の啓蒙活動も検討すべきである。</p>	

最終更新日付	2023 年 2 月 24 日	記載責任者	松尾 卓
--------	-----------------	-------	------

7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	選考基準を明確にし、適切に運用する。	入学選考に関し、選考結果に関する学校運営会議を開催するなど、適切に実施、運用を行っている。		
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用する。	入学者の入学選考時の成績等を鑑み、担任より個別に学習方法について指導を行っている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考に関し、選考結果に関する学校運営会議を開催するなど、適切に実施、運用を行い、教員連絡会議にて全教員へ周知している。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	経費内容に対応し、学納金を算定する。	経費内容に基づき、適切な学納金を算定している。		
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行う。	3月31日までに入学の辞退があった場合は、入学金以外の学納金に関して、これを返還している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経費内容に対応し、学納金を算定し、志願者及び保証人が理解しやすいよう、わかりやすい情報の提供に努めている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>財務は、法人において、適切に管理されている。予算等については法人評議員会・理事会において承認を得て作成されており、また、会計監査においても公認会計士指導の下、適正に実施されている。</p>	

最終更新日付

2023年2月24日

記載責任者

松尾 卓

8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	学校及び法人において、中長期的に安定した財務基盤を構築していく。	適切な構築がなされている。		
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行う。	適切に実施されている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
適切な構築・実施がなされている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定する。	適切に策定している。		
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行う。	適切に管理を行っている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
適切な策定・管理が行われている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施する。	適切に監査を行っている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
適切に監査を実施している。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用する。	財務情報の閲覧を希望する者に対しては、申請に基づき情報の公開を行っている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ホームページ等への掲載は行っていないが、財務情報の閲覧を希望する者に対しては、申請に基づき情報の公開を行っている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に係る学校養成施設認定規則・養成施設指導要領、及び専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っている。</p>	

最終更新日付

2023年2月24日

記載責任者

松尾 卓

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行う。	専修学校設置基準及びあはき師に係る学校養成施設認定規則、養成施設指導要領を遵守し、適正な学校運営を行っている。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令を遵守し、適正な学校運営を行っている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	学校が保有する個人情報保護に関して、外部等への漏洩がないよう、適切な管理を行う。	個人情報にあたるものについては、平時施錠をし、必要に応じて閲覧できる体制としている。 また、教員に対しても、個人情報の含まれるデータ等の学外への持ち出しは禁止をしている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報に関し、平時施錠をするなど、厳格に管理を行っている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	適切な学校運営を目的として、委員会を設置し、自己評価を実施する。	自己点検・評価委員会を設置し、学校及び授業に対する自己点検・評価を行っている。		
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	ホームページ等を利用して、自己評価結果を公表する。	ホームページにて公表している。		
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	委員会を設置し、学校関係者評価を実施する。	年に2回、学校関係者評価委員会を開催し、業界団体関係者、卒業生より評価頂き、その内容に基づいて改善を図っている。		
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	ホームページ等を利用して、学校関係者評価結果を公表する。	ホームページにて公表している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
授業改善を目的とし、自己点検・評価の一環として、期毎に生徒全員に対し、授業アンケートを実施している。また、年に2回、学校関係者評価委員会を開催し、その内容に基づいた学校改善を図っている。併せて、自己点検・評価および学校関係者評価の結果はホームページにて公表している。	

最終更新日付

2023年2月24日

記載責任者

松尾 卓

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	カリキュラム等、教育課程に関する情報を公開し、本校の独自性・特色の周知を図る。	ホームページにて公表している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全学科・全学年のシラバスや成績評価の方法をホームページにて公表している。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>臨床実習を通じて、地域の方々と交流を図り、その方々の健康増進に寄与している。併せて、卒後研修等において、市民公開講座を兼ねることにより、地域の方々へ医療・健康に関する知識の提供を行っている。</p> <p>また、ヨーロッパ諸国の指圧学校の生徒・教員との交流を行い、各々の手技の違いを学ぶとともに、生徒へより広い視野を持たせるように図っている。</p>	

最終更新日付

2023年2月24日

記載責任者

松尾 卓

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	学校の施設・設備等を利用し、積極的に社会貢献・地域貢献を行っている。	臨床実習協力者として、臨床実習にて施術を受けていただき、地域の方々と交流するとともに、その方々の健康増進にも寄与している。 また、卒後研修等において、市民公開講座を兼ねることにより、地域の方々へ医療・健康に関する知識の提供を行っている。		
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	積極的に国際交流を行い、本業界の認知度向上に努める。	ヨーロッパ諸国の指圧学校の生徒・教員との交流を行い、各々の手技の違いを学ぶとともに、生徒へより広い視野を持たせるように図っている。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
臨床実習協力者として、地域の方々にご参加頂き、交流を行うとともに、その健康増進にも寄与している。また、ヨーロッパ諸国の指圧学校の生徒・教員との交流を行い、生徒の視野の拡大を図っている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------

10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 生徒のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	生徒のボランティア活動を奨励し、社会貢献に対する意識の向上を図る。	ここ3年間はコロナ禍の影響により開催されなかったが、例年は京都府専修学校各種学校協会体育大会において、マッサージボランティアブースを設置するなど、生徒のボランティア活動の支援を行っている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
京都府専修学校各種学校協会体育大会において、マッサージボランティアブースを設置するなど、生徒のボランティア活動の支援を行っている。	

最終更新日付	2023年2月24日	記載責任者	松尾 卓
--------	------------	-------	------